

# KSKQ あかねニュース No. 66

川西市障害者共働作業所あかね

〒666-0017 川西市火打1-5-19

Tel&Fax 072-755-4101

ホームページ [akanesan.net](http://akanesan.net)

E-mail: [rassyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:rassyai-akane@deluxe.ocn.ne.jp)

## 手を貸しまししょうか？

一昨々年の秋、生憎の雨天の中を湘南は逗子のホテルを会場に、学生時代に所属していた合唱団の同期会が開かれました。

男女合わせて二十五人、参加率は約三分の二です。皆同世代の六十代半ば、懇親会は話が進み、近況報告から孫の話、闘病経験、そしてタイムスリップして学生時代の思い出、果ては昨今の世界情勢の論評まで止まるところを知らず、貸切同然の会場を良いことに、昔取った杵柄(?)で懐メロを片っ端から合唱(高歌放吟?)しまくり、夜を徹して歌い、語り明かしました。

の鎌倉散策は諦めて、皆遅い朝食を済ませると、まだ二日酔い気味の怪しい足取りでホテルを出て、道路沿いのバス停まで百メートルほどの道を歩きました。

中に一人、やや体の不自由な仲間がいました。十年ほど前に脳梗塞にみまわれ、一旦回復したものの四年前に再発。奥様の献身的な介護の甲斐あって、その再回復ぶりは医者も驚くほどであったと聞きました。

さて、その彼(K君としましう)、右手に傘、左手のステッキでバランスをとりながら、バス停に向かって歩き始めました。

風は結構強く、Kは傘をやや横に傾けます。「危ないぞ、誰か手を引いてやれよ！」後ろの方から

見かねた誰かが声をかけました。私はKの近くにいたので横まで行って聞きました。

「どうする？手を引いた方がいいか？引かない方がいいか？」彼の答えは即座にして明快でした。『大丈夫、引いてもらわない方がいい。バランスをとるコツがあつてな、なまじつ引いてもらわない方が安全なことが多いんだ。サンキュー』

「分かった。隣を歩くから何かあったら云つてくれ。手を貸す。」私は、彼の右側に立つて同じ歩調で歩き、結局彼は私の手を借りることなく、自力でバス停まで歩きました。

\* \* \* \* \*

あかねの障害者の支援に関わりを持つようになった当初、私は彼らの「不自由」をカバーするたために、「出来るだけ手を貸してあげる」ことが支援する者に課せら

毎日発行

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可

頒価 定価 一〇〇円

れた役割だと思っていました。

そうしてあげれば彼らは楽が出来るから嬉しそうにするし、嬉しそうにされればこちららも嬉しいし・・・。

ところがやがて、必ずしもそうではなさそうだと気づきました。彼らは最初のうちこそ嬉しそうにしたが、そのうちそれが当り前であるかのように、やってくれるのを待つようになってきたのです。

これではこの子にとって、自分で何かが出来ようになるための経験にならないのではないか？先輩のヘルパーに意見を求めました。

「もちろん」と彼は云いました。「手を貸すのは**最小限度**にとどめなければだめです。私たちはあの子たちの“自立”を支援するための役割を持っているんだもの、手とり足とり何もかもやってあげたら、彼らは何も自分でしなくなってしまうて、いつまでもたってもスキルアップできない。彼らの自立を逆に妨げてしまっていることになりすよ。口頭表現力に乏しい彼らは、自分の気持ちをうまく人に伝えることが、

苦手だが、実際は彼らは何でも自力でやりたいんですよ。」・・・

やはり、そうだったのか。肝に銘じた私は、その後はガイヘルなどの際、彼らに「手を貸す」ことを極端に控えるようになりました。映画館や駅で切符を買う、食堂で注文する、料金を払っておつりを貰う、人に親切にされたら礼を云う等々、もちろん初めてのことをするときには教えますが、二度目以降はよほどの場合(たとえば極度に混雑している中で、彼らのスローペースが甚大な渋滞を引き起こしかねないと判断したときとか)以外は、極力自分でやらせるようにしました。・・・その子からの「受け」は暴落しましたが、彼はそれでも少しずつ自力で出来るようになってきています。

前述した同期生のK君は身体障害者ですが口頭表現力は支障ないし、相手が気心知れた私だったこともあり、「かえって手を貸してもらわない方がいい」と率直に述べてくれましたが、知的障害者も含めて、介助の現場では、手を貸すべきか貸すべきでないかのとっさの判断に迫られるケ－があります。

「どうする？」と本人に聞く余裕のある状況下ならともかく、そうでない場合は、一瞬の判断の遅れが悲劇を招きかねないと見たら迷わず手を貸すべきだし、大事に至らないと見たら控えるべきかもしれません。

そのあたりのTPOは、いわゆる「場数を踏む」ことによつてヘルパー自身のノウハウとして身につけてゆくのでしょうか。

「かわいそうだから」「やってあげて喜ぶ顔を見るのがやり甲斐だから」といった動機のみに基づく「何でも代わりにやってあげる介助」だけは厳に慎みたいものです。・・・「釈迦に説法」かもしれませんが。

芳川 雅美

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価 一〇〇円

## 共に生きることへの・・悲鳴

振った。

「へ行こか？」と誘ったが、彼女は首を横に

が落ち着いたところで「私と一緒に作業所  
少し話を聞いて、泣いて気持ち  
肩をふるわせて泣いている。  
少し話を聞いて、泣いて気持ち

泣いているねん。  
「困ったねえ、じっくり話を聞  
いてやってね。今日は作業所に  
遅刻してもいいから、ゆっくり  
話を聞いてやって！」と電話を  
切った。  
出勤前の準備中だった私も、ど  
うも胸騒ぎがするので、車で彼  
女の家へ。  
ちよつと落ち着いて朝食を食  
べかけているところへ私の顔  
が見えたので、再び涙・・・  
肩をふるわせて泣いている。

朝七時三十分、携帯が鳴った。  
あかねのメンバーの母親からだった。「お  
はよう！どうしたの？」と云いながら、電  
話の向こう側は母子が泣きじゃくってい  
る。娘が「私もう死にたい、作  
業所へも行きたくない！」って  
泣いているねん。

「じゃーね！」と彼女の家を後にして作業  
所へ。彼女はいつものように自分で電車で  
乗って作業所へ出勤してきた。

ここ数ヶ月間、あかね作業所は職員の人  
手不足がもたらす「非常事態」が続いてい  
た。精神状態が悪く暴れまくる人、その人  
を嫌がって泣きわめきながら職員に絡ん  
でくる人、・・困ったことの連鎖が走る。  
お昼までに弁当を作りあげて配達にい  
かなければならない。ケーキを焼いて売り  
に行かねば・・平野駅へ立ち売りに・・  
イチゴジャム作り・・などなど、いろいろ  
な仕事をこなさなければならぬ職員。  
こんな状態が続いた。  
「障害者も当たり前人間らしく生きて  
い！」そんな願いを支えて夢見て活動して

いるはずの作業所で、じつと我慢を続けて  
いた彼女。コツコツとケーキの袋詰め、箸  
袋を入れて、だまって我慢していた彼女。  
十二名の障害者一人ひとりが職員を一  
人占めにした願望は、痛いほどよくわか  
る。しかし、どうしても暴れる人を中心  
に関わらなければ、という思いの中で作業所  
ではお手上げ状態になっていた。

肩震わせて泣きながら、もう死にたい、  
生きていてもしょうがない、・・こんな言  
葉を云わせてしまった私たち。ガンと頭  
を殴られたような衝撃を受けた。

よーし！職員を増やそう！何としても  
障害者にこんな思いをさせてはならない。  
ハローワークに採用申込みを提出してあ  
ったので、催促してやっと二名の職員採用  
決定。

一人は男性、社会経験豊富なやる気満々  
な比嘉さん。もう一人は、福祉専門の経験  
豊かなやさしい女性の新田さん。

二人の入社が決まったとたん、作業所の  
空気がおだやかに変わった。

「なんで？こんなに早く変わるの？」・・

きつと、言葉の少ない人たちは空気を読んだのであろう。すごい！

そして、作業所も二年前の「新聞ニュース」以来つらい思いをしてきたこの空気も一転して、新しい作業所に生まれ変わろうとしています。

四月から、メンバーの給料も大幅にアップ！（といっても、一般の人から見れば小さい数字ではあるけれど）

人並みの給料になるまでの、第一歩・一方で、職員の数は増えたけれど、彼らの生活を考えると、また胸が痛くなる。

安い給料で、この人たち、生活をどうするのかなあ？将来は？

「食べていけたら、もうそれだけで十分です。」

「がんばってね」

なんか、寂しい会話。

.....?

頑張るぞ〜！

富田 啓子

### 新スタッフ自己紹介

ある地域の介護福祉現場に幻滅し、不安と失望をかかえていた私ですが、四月二十一日、私は見つけました。「障害者と共に働き共に生きる」というフレーズを！そう共働作業所あかねの求人です。

ドアを開けると、作業所の皆さんに笑顔で迎えて頂き、皆さん生き生きと仕事をしています。私はゾクゾクとした感覚を持ち、案内されるまま二階へ。生活を感じる事務所。どんな面接をしてくれるかわくわくしました。富田さん渡邊さんの熱い理念・活動状況を聞き、是非皆さんと共に働き、今までの経験を生かし働きたいと熱望し、今、メンバーとふれあい先輩方のご指導のもと、従事させて頂いております。

私の個人的見解ですが、介護保険法に基づく介護福祉現場、自立支援法に基づく障がい者の方々への温度差、何か福祉現場おかしくないですか？介護福祉現場に携わる者は「志」をしっかりと持ち、福祉の仕事

に従事するべきです。

私は三百六十五日・二十四時間対応出来る、利用者は勿論、その家族の心のケアも出来る事業所をつくり、障がい者だけでなく高齢者・身体障がい者・認知症・待機児童問題が少しでも緩和でき、ふれあえる場所をこの川西市にまず作りたいのです。

私一人では当然何も出来ません。先輩方やあかねを支持支援して頂いている方が築き上げた信頼・人間関係という宝を基盤に、これから支持支援してくださる方々勿論主役である「あかねのフルキャストメンバー」の協力なしでは「志」は「夢」のままです。「あかね」が今後とも支持支援協力を頂く為にも、私自身、三百六十五日二十四時間（実際生身の体ですので不可能ですが気力はあるということ）対応出来る介護職員兼よろず屋になり活動します。「あかね」の半年後・一年後・未来永劫の進化・進捗を長い目でお楽しみに！最後に私はCDクレイジードッグオーナーいわゆる犬バカ、四十四歳男です。

比嘉 徹（ひが とおる）

### 新スタッフ自己紹介②

あかね作業所でお世話になっております。新田浩子と申します。

A型・三十五歳独身です。

長所：素直・真面目(冗談は通じません)  
短所：顔にすぐ出る(分かりやすく単純)  
これまで多くの方々が、あかねを支え、あかねの理念を大切にしてこられた関係者様が、背負ってこられた気持ちに比べられるよう、皆さんと共に歩んでいけるように、これから応援・ご指導をよろしくお願ひします。

\* 新田 浩子(に)った ひろこ  
\* \* \* \* \*

### 天理のおばあちゃん

「こんにちは〜」と一緒に「ただいま〜」と云ってしまえそう！

ゴールデンウィークの中日、五月二日に今では毎年恒例にさせて頂いている「竹の子掘り」に出かけました。

あかねメンバーと老人センターに来て下さる皆さま、ヘルパーさん、ガイヘルを利用してくれる小・中学生の兄妹、おなじみの皆さまに加えて、今年新しい職員二名、「ぶるんぶあん」を仕入れさせて頂いているトレスさんにお勤めの外園さん一家もご参加頂き、大所帯になりました。

もう何年も毎年、たけのこ掘りと、いも掘りに来させて頂いているので、本当におばあちゃんのおうちに戻ってきたよう。ほっとして、皆のんびりゆっくりワイワイと、たけのこ掘りとバーベキューに舌鼓をうちました。いつ来ても、変わらないおばあちゃんの笑顔と山の匂い、そして少しずつ増えている

く「あかねの輪」にほんわかした一日を過ごさせて頂きました。中辻さん・おばあちゃん、いつもありがとうございます。

岡田 小月

### あかねはうす ふれあいひろば 開催中!

毎月、第2、第4日曜日を利用して、あかねはうすで、どなたでも参加して頂けるふれあいひろば開催中です。先日は、認知症についての学習会を行いました。講師さんお二人に来て頂いて、詳しくお話を伺ってとても参考になりました。「明日は我が身」としっかり聞き入りました。時にはこのようなお勉強会も、また時にはおしゃべりに花を咲かせるひとときもいいでしょう。型にはまらずにゆくりと皆さんと出会っていきましょう。

# 爽やかな春風

「おはよう！」何年も毎朝交わした朝の挨拶。この春からはいつになく朝も賑やかに挨拶と笑顔がこぼれる。

トントン拍子で二人、スタッフが増え、メンバーの皆もその活気に乗せられてなにやら雰囲気もそわそわ。

朝から「今日はどこ販売行くの？頑張るで〜！」「Aさんと二行こう、紹介してあげる！」新スタッフは引つ張り侃。

久々の新しい空気にあかね内も爽やかな春風が吹いた感じです。

ここ数年のあかねの状況は決してよくありませんでした。日々をこなしていくことに精いっぱい。メンバーもスタッフも気持ちにゆとりなく、何か大事なものを置き忘れたまま過ぎ、こなしていた毎日。

しかし、ボランティアの皆さんや、あかねを支えてくださる方々の力により、背中を押されながら、いつも通りのあかねとしてあり続けることができました。

今、新たな活気が生まれつつあるあかね。地域の中で元気なメンバーの笑顔と共にあかねから少しずつでも皆さんに爽やかな風を送ることが出来るよう頑張りたいと思っております。

イベント盛りだくさんのあかね、皆さんの協力のもと盛り上げていきたいと思えますので、よろしくお願いします。

渡邊 誠

『障害者と共に辿りつつ生きる』  
 日時:2010(H.22)年6月20日  
 13:30 開場 14:00 開演  
 参加無料・資料代 500 円のみ必要  
 場所:川西市商工会館 4F ホール  
 講師:松村 敏明さん  
 社福法人えんぴつの家理事長

## 講演会のご案内

「障害ってなに?」「障害者と共について?」そんな難しいことわからへんわ!「そんなこと知らんわ!」っていえるのでしょうか?人は皆いろいろな事情を抱えながら生きています。だから一人では生きていけない。他人の優しさに接し暖かい心に触れておおかたの心配事は何とかするのではないのでしょうか?障害のある人ない人、痴呆のある老人そうでない老人、ちょっと心を温め直して他人への思いやりを持った時、自分もそのことに救われることに気づきます。あかねはそんな人たちの集まりです。そしてこれからもそれを目指します。原点に立ち返り「共に生きる社会」を、そして、優しい人間関係を結び直そうではありませんか。是非みなさまもご参加頂き一緒に考えてみませんか

毎日発行 一九九一年九月三日 第三種郵便物認可

頒価 定価 一〇〇円

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価

一〇〇円

# 賛助会員 加入と更新の お願い

皆さまにはいつも私たちの事業や活動に、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。ございます。

昨年、五〇六月にかけて賛助会員の呼びかけをさせて頂いたところ、たくさんの方々にご加入いただき本当にありがとうございます。

賛助会費は『一口年間一〇〇〇円』(あかね定款附則六)となっております。そこで勝手ながら更新月を五〇六月とさせていただきます。ただいておりますので、あらためて、皆さまの更新ならびに新規加入のお願いをさせていただきます。どうかよろしくお申し込み申し上げます。

賛助会費一口年間一〇〇〇円はあかねニュース購読料と支援カンパ金となります。また、賛助会員には何ら強制・制約は一切ありません。ただ私どもの事業・活動に温かいご支援を賜るのみです。

皆さまの個人情報に関してもニュース発送にのみ使用させて頂くことを、あらためてお約束させていただきます。

(余話)ある支援者の方で「一〇年分として一万円入れときます」という方がいらっしやいました。もちろん、文字通りそのようにさせていただきます。このように、一応更新月を五〇六月とさせていただきます。但し、ご支援に、締切や期日はありません。よろしくお申し込みいたします。内海

## ～募集～

一人暮らしをはじめたNさんの泊まりヘルパー

17:00～翌09:00

給与 5,500円

\*\*\*\*\*

移動支援のガイドヘルパー

給与 時間 1000円

詳しくはお問い合わせください

## お出会い情報～あかね行事へのお誘い～

5/23 (日) はうすふれあいひろば

5/30 (日) 出店・エイサーまつり・宝塚

6/22 (日) 共働作業所あかね設立20周年記念講演会

14:00～川西市商工会館 4F

講師：松村 敏明さん

「障害者と共に辿りつつ生きる」

早いもので、7/24・25の土日から三週にわたり夏祭り出店が！またヘルプをお願いします。

## (編集後記)

あかねのメンバー十二名で構成する「あかね自治会」なるものがあります。毎月の薄給から二千円ずつを積み立てて旅行や親睦の資金として拠出しています。それが、今月から二十五日給料日に「自治会ミーティング」なるものを定例化することになりました。行商その他の仕事分担や取り組み方にメンバーの意見を生かしていこうという趣旨です。難しいですが、まずは「意見・思いの言える場」となればいいのですが、乞うご期待 内海

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価 一〇〇円